ゴミカメくんの初個展

ゴミカメラマン　石井亮太

ゴミに興味を持ち始めたのは、15歳くらいの時です。

ある日、公園のベンチに杖が落ちているのを見つけました。それを見つけた時、「この人はどうやって帰ったんだろう」と思いました。杖をつかないと公園まで来れなかった人が急に杖なしでも歩けるようになるのだろうか？と、落ちている杖を見ながらその場で考え込みました。

それから、道に落ちているものに関して興味が湧くようになりました。語られない背景やストーリーを自分で考えているうちに、落としものやゴミから発せられる哀愁が可愛くけなげに見えてきました。そして、最終的にゴミに目が行くようになりました。

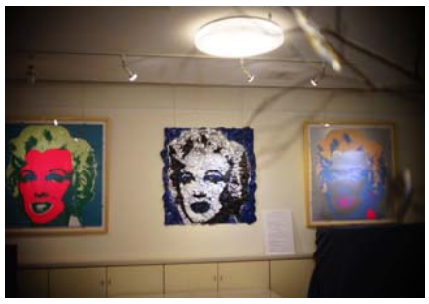
歩いているとただのゴミで見過ごしてしまいますが、視線を下ろして見てみるとまるで命があるように見える瞬間があります。理由をもってそこにいるような気がします。何か語りかけているような気がします。それを考えるのがとても好きです。

また、最近だと「ポイ捨てはダメ！」みたいなポスターやスローガンを目にします。それはその通りだと思います。ただ、ポイ捨てをする人間をいけないよというよりは、ポイ捨てされているゴミを悪とするきらいがあるように思えます。でも、ゴミは勝手に捨てられただけで、悪くありません。しかも、ゴミは目線を下ろすととても可愛いのです！

ですから、こんな見え方もあるんですよ。という紹介ができる作品を作れたらいいなと思い、ゴミの撮影を続けています。

今回の展示では、可愛いゴミの写真と、ゴミ自体をアートにする作品を展示しております。

私は、日頃道に落ちているゴミでクスッと笑ってしまうような可愛いゴミが好きなのですが、今回の個展のために作品を作りました。



アンディ・ウォーホールの「マリリンモンロー」の絵を缶で作ってみました。アートに対して私も興味があるのですが、「アートとは一体なにか？」という答えがわかりません。ただ、何か「アートを完成させるまでには、たくさんのゴミが発生している」ということを表現してみたかったので作ってみました。

ただいま　11月13日まで沼津みなとアートビルねこやにて、個展開催中です。

詳細は二面左欄参照下さい。

県東部労農運動家列伝（１）

久保田　豊　②

岩崎光好（女優富士真奈美の父）著「東静無産運動史」によると、１９３０（昭和５）年頃、静岡県東部での農民運動や労働争議の現場に、一見、右翼暴力団風の筋骨隆々とした体格の男が出入りするようになった。その名は〝久保田豊〟。前年に東京帝大法学部を卒業し、県立田方農学校の教諭として赴任した。昼間は教壇に立ち、夕刻になると争議現場や農民運動に顔を出し、鋭い分析と卓越した指導力を発揮し、その活躍は「覆面教師」と評されていた。

当時、マルクス・レーニン主義を基調とする非合法雑誌「ナップ」および「戦旗」などの文化雑誌が発行されていた。時代が徐々に熾烈な状況となるにつれて、それらの雑誌は官憲の監視をかいくぐり、地下活動を通して一般大衆への配布網や読者組織が形成される中、配布されていた。

当時、三島町堺屋印刷所に若い印刷工として働いていた芹沢総一郎や田方郡下狩野村に在住する酒井光好（著者岩崎光好の旧姓）らの進歩的な青年が責任者となって読書活動を起こし、三島から田方郡下一帯及び沼津市、駿東郡の一部にかけてインテリ青年多数が読者として加盟していた。

久保田青年は、すでにマルクス・レーニン主義理論のひと通りを把握した先鋭な理論家の域に成長していた。このような若い左翼人が田方農学校教諭として赴任し、一方、不況のどん底に陥っていた農村社会に直面し、風雲をまき起こさずに済まされる訳がなかったのである。

過去数年間、鋭意身につけた理論をようやく実践に移すときが到来したのだ。その手始めが「戦旗」や「ナップ」関係の研究会への出入りとなって現われたのであった。

これらの会合への動機は、彼と戦旗支局の首脳部の一人酒井光好が、韮山中学時代の五年間クラスを共にした同窓関係に基づいていた。

一方、同じグループの芹沢総一郎と酒井とは、昭和４年春の伊豆芸術祭の頃から知り合った文学青年同志だった。三者のうち、久保田教諭が覆面の理論的指導者として背後に控え、芹沢、酒井の両青年がいよいよ実際運動に飛躍する場面が展開していった。

１９３０（昭和５）年11月26日、明け方、北伊豆地方に大地震が襲った（丹那断層が生じた）。

この地震により、従来自然条件に恵まれ穏やかに暮らしていた田方地方の人々は、窮状のどん底に叩き落され、惰眠状態にあったこの地方の一般無産大衆や貧農の多数は生きるための闘争へと駆り立てられたのである。

次号に続く

身近な薬草　サツマイモ

サツマイモの美味しい季節。サツマイモは漢方で「蕃薯（ばんしょ）」といい、薬膳同様の働きをする。常食することで胃腸を整え強くし、便通を整え疲れを緩和し、健康で美肌効果が期待できる。各種ビタミンやミネラルを豊富に含み食物繊維も多く、便秘の解消・血中コレステロールの低下・血糖値をコントロールする働きもあり、大腸ガン・高血圧・糖尿病等の成人病予防にも効果。また、生体膜を守り、ガン細胞の増殖を抑制すると言われるβカロテン、糖質の代謝を助けるビタミンB1、「若返りのビタミン」と呼ばれるビタミンEなどもバランスよく含まれている。りんごの10倍以上のビタミンCが含まれており、細胞の結合を強化するコラーゲン生成を助け、免疫を強化し風邪を予防する。余分な塩分を排出し、血圧低下や浮腫の解消に効果があるカリウムも豊富。

【保存方法】新聞紙などに包んで冷暗所に。保存温度は10℃～15℃ぐらい。収穫された直後は甘くなく1ヵ月以上成熟させる。

【乾燥サツマイモ】蒸したものを干すのが一般的だが、生のサツマイモを乾燥させてみよう。天日で干すことによって自然の甘みが凝縮されお菓子などに使用してもお砂糖を減らすことができる。①洗って輪切りまたは拍子切り。②変色を防ぐため水につける。③ざるにあげ水気をふき取る④ざるなどに重ならないよう並べて天日乾燥させる。⑤両面を乾燥させ、カラカラになったら清潔な瓶などに保存。

水にサッと浸け戻し、酢豚等の炒め物、サツマイモご飯、揚げて芋ケンピ等お菓子作りにも使える。〈J〉

静岡オーガニックフェスティバル

２０１８年12月１日（土）９時～16時（荒天中止）沼津の愛鷹運動公園自由広場にて、記念すべき第１回静岡オーガニックフェスティバルが開催されます。オーガニックに興味ある方も、オーガニックの事が良く分からない方もみんなが楽しめて「ツナガル」場にしたいと思っています。ぜひ遊びに来てください！

このイベントは、実行委員長がスーパーでふと思った事がきっかけで立ち上がりました。『友達の農家さんの野菜がスーパーに並んでいる。私はこの野菜がオーガニックであると知っている。しかし、他の人はこの野菜が農薬や化学肥料を使わずに育てられた事を知らない。みんながこの農家さんの事を知っていれば選択肢も増えるのに…生産者と消費者が「ツナガル」場が欲しいな…』そんな想いから始まったイベントです。半年以上前から計画し、ミーティングと準備を重ねてきました。静岡県内で今まで開催された事のない大きなオーガニックのイベントです。県内全域から生産者や飲食店、セラピストが集まり、トークやライブも充実した１日中楽しめるイベントになる予定です。

直接、生産者さんに会って話して「ツナガル」事で、今度その生産物を購入する時には、きっと生産者さんの顔が思い浮かぶはずです。あの人の作ったお米、野菜、お肉、お菓子…顔を思い浮かべながら食べるご飯は、いつもと一味も二味も違うでしょう。

買う事は応援です。買い物であなたの意思表示ができます。身体にも地球にも優しい商品を選ぶ事が子どもたちの未来に「ツナガル」という想いもこのイベントには込められています。

沢山の皆様のお越しをお待ちしています!!　〈青山〉

お問い合わせは
mail: info@shizuokaorganicfes.com
tel　:090-7687-6765
代表山本ホームページ:
shizuokaorganicfes.com　で検索してください!

私の本棚より　のり

「月の満ち欠け」

佐藤正午　著
岩波書店

これは第１５７回直木賞受賞作品だ。三人の男性と二人の女性の、過ぎし日々が交錯し幾重にも織り込まれた数奇な、さまよえる魂の物語。戦慄と希望と落胆などの感情に揺さぶられ、それがリズムとなり先へ急かされる読書体験だった。

ここで、先日読んだ毎日新聞記事を思い出す。２０１７年12月に米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）所属の大型ヘリコプターの窓が普天間第二小学校の校庭に落ちる事故があった。米軍機接近のための小学校の避難訓練について書かれていた。一学期間の避難訓練回数、なんと４５５回（防衛省沖縄防衛局のまとめより）。

転生が魂の目的のやり残しのための生と死の繰り返しだとしたら、例えば沖縄で戦闘、避難や危機感が馴染んだ魂はどんな目的で転生を繰り返すのだろう。

知の力、より高い気付きが得られれば、一度の生で馴染みの感覚（危機感や情動）から飛躍的に自由になることは可能なのではないだろうか？

生まれ変わりを追体験し、そのからくりが解けたかのような錯覚に陥り溜息が出た。特に女性の感情は月の満ち欠けに無意識に影響されるが、この本は感情が揺ゆさぶられる起爆剤だった。人妻、瑠璃と学生の三角の秘めた恋愛。「月の満ち欠けのように生と死を繰り返す。そして未練のある人の前に現れる」と言い、地下鉄事故で早世した瑠璃は、ある少女として転生する。母親は妊娠時に「生まれたら瑠璃という名前を付けてほしい」との予告夢に娘を瑠璃と名付ける。娘は原因不明の高熱で、前出の瑠璃の生まれ変わりの存在へと変貌してゆく。瑠璃と同様、交通事故で早世。また別の母親が同じ予告夢を見る。

ひろばおすすめshop　とうふ　三州屋

旧東海道沿い、三島大社から東にちょっと歩いたところにある道路沿いのお豆腐屋さん。歩道に沿った柱の上の看板が目印。豆腐一丁150円、油揚1枚50円。他に丸揚げ1枚50円、角揚げ1枚80円なども売っている。創業90年、今の主人で四代目。会社が定年になった後、家業を継いだ。

お客さんが1、2回勤めながらなので、豆腐作りは2日に一度。販売は80歳を越えたお母さんが元気に店先で対応してくれる。週末には箱根西麓の集落の昔なじみのために、ご主人が出張販売を行っている。つい先頃までは水の街三島にふさわしく七店を数えた手作り豆腐屋もこの三州屋と東本町の富田豆腐店の二店になってしまった。どちらも大事にしていきたいお店だ。〈O〉

三島市大社町14-1
☎055-975-1754
日曜日　定休

この春　西浦にリノベーションで
ひっそりオープン！！
自然農のお店＆体験の宿
廻廻　-KAIE-
■自然農のお店
営業時間：11：00～16：00
日・月・火のみ
西浦みかん　ストレートジュース
ドライフルーツ　農作物加工品
手作り品　様々量り売り致します！
■体験の宿
農作業体験もできます。
お問い合わせください。
〒410-0243 沼津市西浦久料144-8
TEL：090-3836-4583
FAX：055-919-5552

ミネラル酵素ドリンク教室
御予約にて開催いたします
費用　3500円（材料費を含む）
連絡先　駿東郡清水町徳倉　あんさ
電話：070-6410-7538（こうの）

トータルビューティ
TAYA
代表
美の匠　田屋有季子
花嫁着付・一般着付
カット＆パーマ
フェイスリンパマッサージ
〒411-0801
三島市谷田 243-2
TEL&FAX 055-981-8019
携帯 090-8154-4324

ひろばパソコン教室のご案内
デジカメ　iPad
スマホ買ったけど
使いこなせない（＞＜。）
第２・４水曜日　午後７時～８時半
市民ひろばにて
1回 1000 円
【個別指導対応】
iPad、スマホの使い方、ワード、エクセル、
デジカメ、画像処理、3DCAD の使い方等
連絡先：080-3061-1561（原田）

労働相談受け付けます！
三島ふれあいユニオン
首切り解雇、残業代未払い
職場でのパワハラ・セクハラ
ひとりで悩まないで相談してください
三島ふれあいユニオンは
全力であなたをサポートします
電話：090-4216-8417
Eメール：hrwsiys@yahoo.co.jp